

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	22			作成日	平成25年9月30日
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業
	項	4	まちの将来を担う人づくり	課等名及びグループ名	生涯学習課 生涯学習グループ
	節	4	豊かな感性と情操を育む芸術文化活動の推進	記入者 職氏名	課長補佐 中野 一徳

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

		実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
			☒	☐	☐	☐
事務事業名	大子町文化福祉会館自主事業					
事業概要	対象	町民等				
	目的	文化福祉会館「まいん」を広く知ってもらうために、まいんを利用した事業を行う。				
	実施内容	平成24年度においては、下記の事業を実施した。 ・サンバドルコンサート(372名) ・「忍たま乱太郎」夏休み子ども映画 (1回目150名, 2回目157名) ・ダ・カーポコンサート(294名) ・「誰がために鐘は鳴る」映画上映(75名) ・スギテツクラシックコンサート(221名) ・いっこく堂ライブ(373名) ・みんなのまいん全員集合(392名)				

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	地域文化の振興等
	款	9	教育費		事業名 (施策名)	過疎地域自立促進特別事業
	項	5	社会教育費			
	目	6	文化福祉会館自主事業運営費			
	事業名	文化福祉会館自主事業運営費		根拠法令	大子町文化福祉会館自主事業運営委員会設置要綱	

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間			開始			終了		
			平成	22	年度	平成		年度
年 度			事業費 (決算・予算)					
			財源内訳 (単位: 千円)					
			国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成 21	年度実績							
平成 22	年度実績	12,446					12,446	
平成 23	年度実績	17,548				11,566	5,982	
平成 24	年度実績	13,302				12,240	1,062	
平成 25	年度当初	12,391				12,240	151	

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
					武藤文化福祉基金繰入金	
24 年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	☒	☐	☐

状況説明	文化福祉会館まいんで開催するイベント等を、文化福祉会館自主事業運営委員会が企画し運営する事業。
------	---

V 問題点の概要

問題点	事業開催にあたり、会場を借用しての運営となるため、準備品の運搬・会場借用手続き等職員の負担が大きくなっている。
-----	---

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
入込客数	人	2,034	3,136	-	3,136	-	3,136	-	3,136	64.9%
指標に表われない効果	当該施設を利用することによって、人と人とのコミュニケーション形成の場となつてい									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	☐ 妥当である ☐ どちらともいえない ☒ 妥当でない	施設の管理が別であり、事務作業が煩雑である。当事業を委託したほうが良い。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	☒ 有効である ☐ どちらともいえない ☐ 有効でない	町中心部にある文化施設の有効利用を図るために委員会は十分に機能している。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	☐ 効率的である ☐ どちらともいえない ☒ 効率的でない	施設の管理は別団体が行っている現状を踏まえると、効率的な事業展開とは言えない。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	☒ 公平である ☐ どちらともいえない ☐ 公平でない	幅広い年代層に対応できる事業を実施している。

Ⅱ 総合評価

今後の方向性	3	継続(実施方法, 実施主体等を変更する)
※今後の方向性について, 次の項目から選択してください。 1 継続(事業規模を拡充する) 2 継続(現行どおり) 3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する) 4 見直し(実施規模を縮小する) 5 他事業と統合する 6 休止, 廃止 7 終了		
【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 ・運営委員会の活動のさらなる活性化により町民のニーズを的確に捉え, 年齢層に応じた事業を開催していく。 ・事業を展開するに当たり, 施設の管理及び運営を一本化にする。		
【担当所属長意見】 当町の文化の拠点として町民のニーズに応えられる事業を企画し実施していく必要がある。施設の管理及び運営については, 大子町社会福祉協議会に委託することが望ましいと考える。		

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	3	継続(実施方法, 実施主体等を変更する)
※今後の方向性について, 次の項目から選択してください。 1 継続(事業規模を拡充する) 2 継続(現行どおり) 3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する) 4 見直し(実施規模を縮小する) 5 他事業と統合する 6 休止, 廃止 7 終了		
【具体的内容】 関係課及び指定管理者と事業の進め方について再検討すること。		
【備考】		